

平成 31（令和元）年度 男鹿市学校教育の基本方針

本市は、「教育・観光・環境が豊かな文化都市」を目指しており、市総合計画基本構想において、まちづくりの基本目標の一つに「教育の振興」を掲げている。

今、学校には、変化の激しい社会をたくましく生き抜き、郷土や社会を支える人材、世界に羽ばたく人材の育成が求められている。

また、本市の小・中学校では、学校が小規模化する中での活力ある学校づくりや、統合により学区が広域化する状況で地域とのつながりを維持・発展することが課題となっている。

これらを踏まえ、本市学校教育においては、「ふるさと男鹿を愛し、すぐれた知性、豊かな心、たくましい体を持ち、ふるさと男鹿の将来を担う子ども」の育成を目指し、コミュニティ・スクールの取組を踏まえた学校経営の推進を基盤に、「確かな学力の育成」「豊かな人間性の育成」「たくましい心と体の育成」「教職員の研修の充実」に向けた取組を推進していく。

男鹿市の目指す子ども像

ふるさと男鹿を愛し、すぐれた知性、豊かな心、たくましい体を持ち、
ふるさと男鹿の将来を担う子ども



男鹿市学校教育の4つの柱と重点目標

確かな学力の育成	豊かな人間性の育成	たくましい心と体の育成	教職員の研修の充実
1 学習指導の充実 2 小・中連携の推進 3 地域の教育力の活用	1 心に響く道德教育の推進 2 心を育てるふるさと教育の充実	1 自立心や自尊感情を高める生徒指導の充実 2 健康で過ごす安全・安心な学校づくり	1 連携による研修の充実 2 校内研修の充実



学校教育推進の基盤

コミュニティ・スクールの取組を踏まえた学校経営の推進

- 地域と一体化したコミュニティ・スクールの推進により、学校の活性化を図る
- 全教育活動を通してふるさと教育の充実に努める

平成 31（令和元）年度 学校教育の重点目標と努力事項

《 確かな学力の育成 》

1 学習指導の充実

- (1) 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくりを推進する。
- (2) 個に応じた多様な指導を通して、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図る。
- (3) 家庭学習の習慣化と内容の充実を図る。

2 小・中連携の推進

- (1) 中学校区における小・中連携による研修の充実を図る。
- (2) 9年間を見通したキャリア教育の推進に努める。
- (3) 小・中学校で連携した外国語活動・外国語教育の推進に努める。

3 地域の教育力の活用

- (1) 地域の施設や人材の積極的な活用に努め、学習への興味・関心・意欲の向上を図る。
- (2) 総合的な学習の時間等において、地域のよさを再発見し発信する学習を展開する。

《 豊かな人間性の育成 》

1 心に響く道徳教育の推進

- (1) 全教職員の参画により、全体計画等に沿った道徳教育を推進する。
- (2) 物事を多面的・多角的に考える道徳科の授業となるよう、多様な指導方法を工夫する。

2 心を育てるふるさと教育の充実

- (1) 地域のために役立とうとする児童生徒の育成に努める。
- (2) 地域を学習の場とした体験活動や地域の方々との関わりを通して、よりよい人間関係を築こうとする児童生徒の育成に努める。

《 たくましい心と体の育成 》

1 自立心や自尊感情を高める生徒指導の充実

- (1) 生徒指導の機能を生かし、たくましい心を育むとともに、児童生徒の望ましい自己実現を支援する。
- (2) 居場所づくりや絆づくりの取組を通して、いじめや不登校のない楽しい学級づくりに努める。
- (3) 児童生徒の思いを真摯に受け止め、自ら問題を解決できるよう、教育相談の充実に努める。

2 健康で過ごす安全・安心な学校づくり

- (1) 健康の保持増進や健康課題に応じた指導の充実を図る。
- (2) 生命の尊重を基本とした安全指導及び防犯・防災教育の充実と安全管理の徹底を図る。
- (3) 運動に親しむ習慣や意欲を養うとともに、体力・運動能力向上のための指導の充実を図る。

《 教職員の研修の充実 》

1 連携による研修の充実

- (1) 大学や県内教育関係機関を積極的に活用した研修の一層の充実に努める。
- (2) 子どもの発達段階や特性を踏まえ、幼稚園・保育園、小学校、中学校が連携し、情報共有や研修に努める。

2 校内研修の充実

- (1) 自校の教育課題の解決や今日的な教育課題を見据えた校内研修の充実を図る。
- (2) 特別な支援を必要とする児童生徒を理解し、個に応じた支援につながる研修を深める。